

いい世よ来い、いい世さ来い！
第9回人吉よさこい祭り

全国各地からよさこいチームが集まり演舞を披露する「第9回人吉よさこい祭り」が11月9・10日にMOZOCASAステーション駐車場と青井阿蘇神社で開催されました。

10日の本祭には全国各地から50チームが集まり、約800人の踊り子が参加。それぞれのチームが個性あふれる演舞を披露した後、参加チームと観客がみんなで踊る総踊りで幕を閉じました。よさこい演舞ならではの華麗で情熱的な踊りで、観客やまちなかに笑顔と元気を届けました。



人吉よさこい銀翔会は振り付けを一新した舞を披露

身近な自然の植物に親しもう
自然観察会

子どもたちが身近な自然に親しみ、森に興味や関心を持ってもらおうと、市では11月16日に自然観察会を開催しました。雨天のため会場を村山公園から市役所に変更して実施。

熊本県森林インストラクター協会の会員が講師を務め、小学生とその保護者が木の葉をカルタの要領で取るネイチャーゲームなどを実施。ゲームの後は、どんぐりなどの木の実でブローチ作りを楽しみました。小学2年の東奈陽さんは「動物当てゲームや木の葉のカルタ遊びが楽しかった」と話していました。



熊本県森林インストラクターから身近な植物の特徴を学んだ

職員が市民目線で手続きを体験
窓口利用体験調査

市では、デジタル技術を使った窓口業務改革を進め、利用者目線で市役所窓口の改革に取り組むため、11月19日に窓口利用体験調査を行いました。

参加した職員は転居などあらかじめ設定した来庁者になりきり手続きを体験。何度も名前や住所を書く場面があるなど、調査が終了する頃には疲れきった職員も。体験後の意見交換では日常業務の中では気付かない改善点が多く見つかりました。出された意見は、市民の皆さんが円滑に手続きができるよう窓口の改善に役立てていきます。



手続きにかかった時間や歩数、職員の動きなども細かく記録

150周年をにぎやかに祝い
大畑小創立150周年記念式典・記念祭

大畑小が創立150周年を迎え、11月2日に同小体育館で記念式典を開催しました。同小は明治7年に創立。校舎の移転や校名の改称などを経て現在に至ります。

式典に参加した児童はみんなでお祝いの言葉を発表。「これからも大畑のシンボルでいてください」と感謝を伝え、同小を歌った曲『みんなを見守る大きな木のうた』を合唱しました。11月3日には同小グラウンドで記念祭を開催。出店やさまざまなステージイベントがあり、大勢の人でにぎわいました。



記念祭ではお笑いライブなどがあり大いに盛り上がった

税を考える週間

作品・入賞者紹介

11月11～17日は、全国一斉の「税を考える週間」でした。これにちなんで、人吉球磨地域の小・中学生、高校生から応募があった税についての作品のうち、優秀作品の表彰がありました。市内の入賞者を紹介します。(敬称略)

問合せ 市税務課諸税係 (☎22・2111 内線1032)

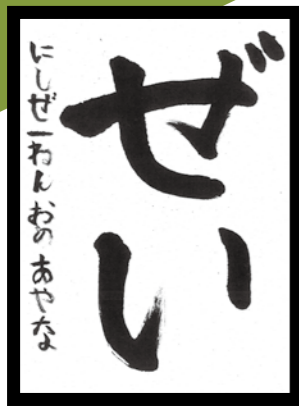
人吉市長賞

大畑小6年 杉本朱威



習字

小学生の部



西瀬小1年 小野 紋奈



東間小2年 杉枝 桜音

熊本県南広域本部長賞

東間小2年 杉枝 桜音

人吉球磨地区租税教育推進協議会
会長賞

西瀬小1年

小野 紋奈

標語

中学生の部

- 人吉球磨地区租税教育推進協議会会長賞
第二中1年 永田 深一郎 「税金と 築き上げよう 良い暮らし」
- 人吉税務署長賞
第二中3年 愛甲 茉央 「税金で 成り立つ今と つくる未来」
- 人吉球磨地区税務関係団体長連絡協議会会長賞
第二中3年 和田 依怜奈 「税金は みんなの未来 つなぐ橋」
- 人吉間税会会長賞
第二中2年 豊岡 樹 「納税で 社会に貢献 助けあい」

作文

中学生の部

- 人吉税務署長賞
第二中3年 西 勇成 「安心を、ありがとう」
- 第二中3年 酒井 祐輔 「税について考える」
- 人吉球磨地区納税貯蓄組合連合会会長賞
第二中3年 楠原 彩花 「私たちの税金」
- 第二中3年 坂口 真里奈 「『税のありがたさ』」
- 人吉球磨地区租税教育推進協議会会長賞
第二中2年 大園 史隠 「国民全員のために」
- 人吉市長賞
第一中3年 磯田 晃成 「人をささえる税金」

作文

高校生の部

- 人吉税務署長賞
球磨工高2年 北野 詩織 「地震を通して知った税のこと」
- 公益社団法人人吉球磨法人会会長賞
球磨工高2年 元田 瑠希也 「僕の考える『国税』」
- 南九州税理士会人吉支部長賞
球磨工高2年 道崎 隼人 「税への考え方」
- 公益社団法人人吉球磨法人会青年部会長賞
球磨工高2年 椎葉 煌霸 「税について」